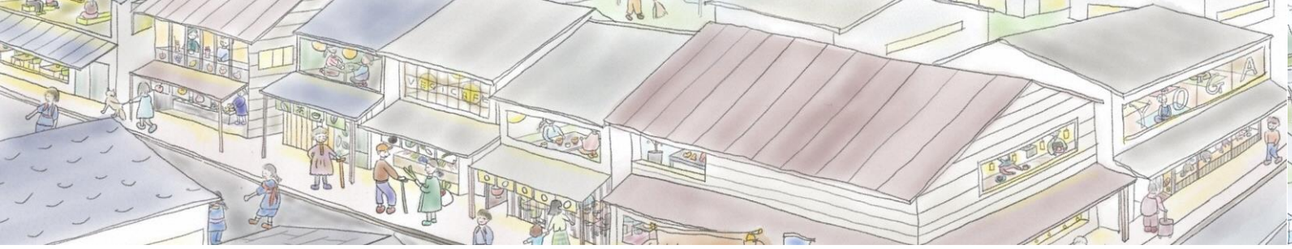

【発行年月】
令和４年9月

# 上越市 まちなか居住推進事業
【直江津地区】
# ニュースレター Vol.5

## 移住者等インタビュー

直江津にＵターンされた船木さん、また高田から直江津のまちなかに移住されたNさんに、**「直江津のまちなかに住むこととなったきっかけ」「住んでみた住み心地」「今後も住み続ける、新たに住んでもらうためには」**などについてお伺いしました。

### 船木 康雄さん（福永町出身、東京都よりＵターン）

**●最大の理由は「祇園祭に出たかったから」です。**

ゆくゆくは実家の美容院を継ぐために戻る予定でしたが、きっかけになったのは、カットコンクールの全国大会で賞をもらったこと。ちょうど結婚、出産と重なったこともあります。

**●妻は、買い物や子育ての面では、かなり便利だと言っています。**

妻も最初は「風で家が揺れることがあり得ない」「隣同士の家がくっついていて、声も丸聞こえだ」と心配していましたが、買い物や子育ての面については、便利だと言っています。妻の実家にも夜祭りがあるので、祭りやコミュニティにも理解があります。

**●空き家や空き地の情報をうまく活用することですかね。**

同級生にも土地の形状や広さ、タイミングも合わなかったため、帰るのを断念してしまった人がいます。自分は、たまたまよい中古物件が福永町にあったので買うことにしました。元々は二軒分の家でしたが、床暖房が入っていて、浴室も洗い場が広いタイプになっているなど、ある程度リフォームもされていたので快適に暮らしています。

### Nさん（柏崎市出身、高田より移住）

**●不動産業者の方に「お年寄りが多くて、穏やかに育てられるのでは」と言われたことに納得したことが決め手です。**

子どもが小学校に入る前に、出身の柏崎に戻るか中学時代に過ごした直江津に住もうかと考えていました。柏崎は、小児科など子どもに何かがあった時の施設があまり充実していない反面、直江津は、小児科などが充実し、ちょっとした土地勘もあったので直江津を選びました。

**●最初はドキドキしましたが、皆さん親切なので困りごとはありません。**

町内の団結力にちょっと圧倒されましたが、いろいろ話したり、交わることで不安は解消されました。隣近所の方々に子供たちが見守られている感じなので住んでよかったと思っています。

**●空き家をリノベーションし、快適に過ごせるというモデルハウスを見てもらうのが良いと思います。**

学校が近くて子どもを育てる環境としては良い所だということをＰＲしたり、「こんな感じにリフォームできる」ということは、実際に見てもらわないとわからないので、内覧会をするのはどうでしょうか。

## 今後の進め方等

今回のワークショップで皆さんからいただいたご意見を踏まえ、上越市まちなか居住推進事業事務局において**施策（案）を作成し、9～10月頃にモデル地区との意見交換会を開催**する予定です。

そして令和５年度からは、**モデル地区３町内において具体的な取組を決定・実行**したいと思っています。

R４年秋頃 ①施策（案）について意見交換会 ▶ R５年度 ②具体的な取組を決定 ▶ R５年度以降 ③具体的な取組を実行


発　行　上越市まちなか居住推進事業事務局（窓口：上越市 都市整備課 市街地整備係）
E-mail：toshi-shigaichi@city.joetsu.lg.jp／Tel:025-520-5764／Fax:025-526-6112
URL ： https://www.city.joetsu.niigata.jp/soshiki/toshiseibi/machinakakyoju.html


## 「まちなか居住推進事業」とは？

まちなかに“これからも住み続けたい”“新たに住んでみたい”“また訪れたい”と思う人が自然に集まるまちを目指す**新しいまちづくり**の取組です ！

本紙やホームページを通じて事業の取組内容や進捗状況を定期的にお知らせしています。今回は、モデル地区３町内で行った**ワークショップの概要**や**移住者インタビュー等**についてお伝えします。

## ワークショップの概要

モデル地区３町内ごとに、５月から８月にかけてワークショップを行い、**町内の魅力や困っていること**を洗い出し、**目指すまちの将来像**や**具体的な取組**などを検討しました。

### 第１回

- 町内の**魅力や困っていること**
- 解決策（アイディア出し）

### 第２回

- **どういうまち**にしていきたいか？
- **どこで、どういうこと**ができそうか？

### 第３回

- **どこで、何が**できそうか？
- **住民・民間事業者・行政**それぞれ何ができそうか？

### 埒アドバイザーからのアドバイス

まちづくりアドバイザー
埒正浩（らち・まさひろ）氏

- まちなか居住は、行政だけで出来るまちづくりではなく、**住民の皆さんが主体となって考え、住民・民間事業者・行政が、協働で進めるまちづくり**です。
- 先行してモデル事業に取り組んでいる高田地区では、**「子どもの時の思い出も多く、このまちで子育てをしたい」**ということで、**本事業で創設したリフォーム補助を活用し、ご両親と同居を始められる**方もおられます。
- 今回のワークショップを踏まえ、行政では支援策が検討されます。今後は、**一つでも二つでも具体的な取組を進めていきましょう**！

## モデル地区３町内の**ワークショップで出された主な意見**

### 福永町

#### 町内の魅力は？

- ◎水害がない
- ◎近所づきあいがよく、世代間のコミュニケーションがある
- ◎祇園祭コミュニティにより結束感がある
- ◎海が近く、夕陽がきれいで魅力的

#### 困っていることは？

- ×空き家が多い
- ×土地の形が細長い、駐車スペースがない等
- ×土地の権利関係が複雑
- ×住宅が密集し、火事が心配
- ×子どもが遊べる公園がない
- ×海が近く強風、塩害が発生

【第１回】

#### 目指すまちの将来像

- ●高齢者にやさしく、交流・活躍できるまち
- ●海を感じ、活かしたまち
- ●遊び場も多く、安全で安心、子育てしやすいまち
- ●若い世代に選ばれ、Uターンしやすいまち
- ●コミュニティに協力的でにぎわうまち
- ●祇園祭を大切に継続できるまち

【第２回】

#### 具体的な取組（例）

- ●２戸を１つに
  - ・行政と連携して所有者の意向確認
- ●高齢者施設建設＋道路拡幅
  - ・所有者意志確認
  - ・拡幅分の土地は寄付等を検討
- ●建物改修＋リノベ・ビフォーアフターPR
  - ・建物リフォーム支援
- ●相談窓口設置
  - ・空き家予備軍の相談窓口を設置し、住める状態で次のユーザーへつなぐ

【第３回】

### 天王町

#### 町内の魅力は？

- ◎三八朝市は便利
- ◎南北方向の道路は幅が広い
- ◎災害が少ない
- ◎地域コミュニティが強い
- ◎祇園祭が魅力
- ◎みなとまちの歴史がある

#### 困っていることは？

- ×空き家が多い
- ×土地の形が細長い、駐車スペースがない等
- ×店が減っている
- ×海が近く強風、塩害が発生
- ×排雪場がない
- ×町内のコミュニティが強く、よその人が入りにくい

【第１回】

#### 目指すまちの将来像

- ●高齢者が元気で、交流・活躍できるまち
- ●“うみまち暮らし”をＰＲできるまち
- ●子どもが多く、子どもの声が聞こえるにぎやかなまち
- ●若い人も住みやすく、循環するまち
- ●祇園祭の中心、当事者になれるまち
- ●コミュニティを大切に、人の交流があるまち

【第２回】

#### 具体的な取組（例）

- ●空き家の利活用
  - ・行政と連携して所有者の意向確認
  - ・有償ボランティアで片付け
- ●旧つたや旅館利活用
  - ・活用方策検討
  - ・町内ぐるみで掃除
- ●ライオン像の裏庭利活用
  - ・西日よけ・ベンチなど施設整備
- ●ライオン像周辺の空き地利活用
  - ・町内総意の活用方法を行政とともに検討・協議

【第３回】

### あけぼの

#### 町内の魅力は？

- ◎直江津駅前には商店街等もあり高齢者に便利
- ◎直江津駅があり、バスも充実公共交通が利用しやすい
- ◎飲み屋があり、夜は賑やかだが昼は静か
- ◎幼稚園や学校が近い等、子育てしやすい環境
- ◎祇園祭コミュニティにより結束感がある
- ◎雁木など特徴的なまちなみ

#### 困っていることは？

- ×空き家・空き店舗が多い
- ×借地が多く土地の権利関係が複雑
- ×酔っ払い、ポイ捨て等マナーが悪い
- ×徐々にお店が減っている
- ×幼稚園の近くに子育て世代向けのアパートがない
- ×店舗はあるが、居住者が少なく、町内活動が困難
- ×うみがたりのお客さんの回遊が少ない

#### 目指すまちの将来像

- ●子どもが愛着を持ち、主体的に関わるまち
- ●便利で住みやすく、住みたいと思えるまち
- ●魅力的な店舗があり、活気のある商店街No.1を目指すまち
- ●家族で楽しめ、子育て世代が住みたくなるまち
- ●変化があり、立ち寄りたくなるまち
- ●駅前の立地や鉄道といった特色を活かしたまち

#### 具体的な取組（例）

- ●空き店舗活用
  - ・行政と連携して所有者の意向確認
  - ・お試し出店
- ●空きビル利活用 or解体
  - ・所有者の意向確認
  - ・シェアオフィスなど利活用支援
- ●互の市での集客イベントの定期開催
  - ・商店街ブースでの出店
- ●景観統一
  - ・地域のルールづくり
  - ・歩道と雁木下の改修等

【第１回】

【第２回】

【第３回】

**ワークショップとは**

様々な立場の人々が、自ら参加して、お互いを尊重しながら、意見をまとめていく共同作業です。